

<b>■ 支部 だ よ り ■</b>
---------------------

## 東海・近畿・北陸支部

全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部の活動として、第27回全国環境研協議会支部研究会の開催概要について報告します。

1. 日時：平成25年1月21日(月)～22日(火)
2. 会場：石川県文教会館(金沢市)
3. 内容

発表は27題、参加機関数は17機関、延べ参加人数は50名でした。以下に発表演題を示します。

第1日目：1月21日(月)

- ①和歌山県における黄砂の事例解析(和歌山県環境衛生研究センター)
- ②福井県における光化学オキシダント等の越境汚染に関する海沿い高地での調査(福井県衛生環境研究センター)
- ③立山室堂周辺における融雪調査(富山県環境科学センター)
- ④乾性降水物調査について(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)
- ⑤名古屋市における遺伝子組換えナタネの現状(名古屋市環境科学調査センター)
- ⑥愛知県内における特定外来生物ソウシチョウの生育状況(愛知県環境調査センター)
- ⑦琵琶湖南湖岸における水草刈り取りによるアオコの発生抑制の検討(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)
- ⑧フルボ酸を用いたミジンコの生態影響試験について(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)
- ⑨夜叉ヶ池における水質およびプランクトン相の季節変動について(第2報)(福井県衛生環境研究センター)
- ⑩淀川流入支川における有機フッ素化合物の実態について(京都府保健環境研究所)
- ⑪環境中の水酸化PCBs(OH-PCBs)について(兵庫県環境研究センター)
- ⑫大気中2,4-ジニトロ-o-クレゾールの分析法の開発について(神戸市環境保健研究所)

⑬環境水からのダイオキシン類高濃度検出事例について(石川県保健環境センター)

⑭播磨灘、加古川流域を対象とした難分解性有機物及び窒素、リンに関する特性評価(兵庫県環境研究センター)

⑮河川から検出される全亜鉛の由来に関する研究(第2報)(福井県衛生環境研究センター)

⑯河川で検出されたテトラクロロエチレンについて(岐阜県保健環境研究所)

第2日目：1月22日(火)

⑰数値モデルによる兵庫県の微小粒子状物質(PM<sub>2.5</sub>)濃度の評価(兵庫県環境研究センター)

⑱大阪府におけるPM<sub>2.5</sub>成分濃度の地域ごとの特徴について(大阪府立環境農林水産総合研究所)

⑲奈良県における高濃度イベント時のPM<sub>2.5</sub>中の無機元素成分の組成解析(奈良県保健環境研究センター)

⑳岐阜県における浮遊粒子状物質中の水溶性成分の特徴(岐阜県保健環境研究所)

㉑地下水の揮発性有機塩素化合物について(愛知県環境調査センター)

㉒鉛による模擬汚染土壌の存在形態分析について(石川県保健環境センター)

㉓下水汚泥から回収されたリン資源による脱色性能評価について(第二報)(岐阜県保健環境研究所)

㉔下水処理場における処理方式の違いによる栄養塩処理効率について(堺市衛生研究所)

㉕最終処分場浸透水に対する水処理の検討(奈良県保健環境研究センター)

㉖海面埋立処分場内水のpH上昇対策の検討(大阪市立環境科学研究所)

㉗産業廃棄物不適正処理事案現場における硫化水素発生抑制のための過酸化水素水ドライフォグ噴霧法の適用と効果(三重県保健環境研究所)

## 九州支部

全国環境研協議会九州支部の活動について、第38回九州衛生環境技術協議会の開催状況を報告します。

### 1. 第38回九州衛生環境技術協議会

九州各県・市13機関の147名が出席して、大気分科会、水質分科会、生物分科会、衛生化学分科会、細菌分科会、ウイルス分科会、情報企画分科会の7つの分科会に分かれ、調査研究・事例等および照会・協議事項について、発表、討議、意見交換を行ったほか、特別講演、全体会議が行われました。

○期 日：平成24年10月23日(火)～24日(水)

○場 所：アクロス福岡

### ○会議概要

平成24年10月23日

・各分科会

事例・研究発表

照会・協議事項の討議

平成24年10月24日

・特別講演

「福岡での“生物多様性”を考える

—地域～国内～国際のつながり」

講師：九州大学工学研究院環境社会部門生態

工学研究室准教授 清野 聡子 氏

・全体会議

平成23年度会務報告

分科会協議報告

次回分科会討議報告